

PAT-NO: JP356152368A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 56152368 A  
TITLE: FACSIMILE DEVICE  
PUBN-DATE: November 25, 1981

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

SHIBATA, TAKAHISA  
KURUSU, MASAACKI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

KK TAIKO DENKI SEISAKUSHO

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP55055768

APPL-DATE: April 25, 1980

INT-CL (IPC): H04N001/00

US-CL-CURRENT: 358/400

ABSTRACT:

PURPOSE: To transmit an original automatically in the night when telephone charges are cheap, by previously marking a number information of the transmission companion in the space part at the tip of the transmission original and by enabling a picture information to be transmitted automatically in the night, when the operator is absent, by setting the timer.

CONSTITUTION: Number information of a transmission companion is previously marked in the space part at the tip of unurgent transmission original 1, and this original is set to automatic original insertion device OP, and timer circuit TM is set to the time for transmission. TM outputs the signal to

control part CU at the set time and instructs OP to insert original 1. When the tip of original 1 reaches the position of sensor S<SB>2</SB>, the mark is read, and number information of the facsimile of the companion is stored in latch part R. Autodial device AD is operated by this information, and picture information of original 1 is automatically transmitted to the facsimile of the companion.

COPYRIGHT: (C)1981,JPO&Japio

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭56—152368

⑬ Int. Cl.<sup>3</sup>  
H 04 N 1/00

識別記号  
1 0 6

庁内整理番号  
8020—5C

⑭ 公開 昭和56年(1981)11月25日

発明の数 1  
審査請求 未請求

(全 4 頁)

⑮ ファクシミリ装置

⑯ 発明者 来栖正昭

東京都品川区中延六丁目10番13  
号株式会社大興電機製作所内

⑰ 特 願 昭55—55768

⑱ 出 願 昭55(1980)4月25日

⑲ 出 願 人 株式会社大興電機製作所

⑳ 発 明 者 柴田孝久

東京都品川区中延六丁目10番13  
号

東京都品川区中延六丁目10番13  
号株式会社大興電機製作所内

明 細 書

発明の名称 ファクシミリ装置

特許請求の範囲

自動原稿挿入手段と、原稿の指定された位置に付された相手装置に対応する加入者電話番号指定のためのマーク情報を読取る手段と、この読取手段からの出力信号によって読み取られたマーク情報に対応した加入者電話番号を送出するダイヤル送出手段と、所定の時刻に上記自動原稿挿入手段を起動するようにした時限手段とを具備してなるファクシミリ装置。

発明の詳細な説明

本発明は一般電話回線を使用するファクシミリ装置であって、オペレータの不在時において、予じめ機械にセットされている送信原稿によって所定の相手ファクシミリ装置に送信するようにしたファクシミリ装置に関する。

一般の電話回線を利用して原稿の内容を目的地に簡易に送信するようにしたファクシミリ装置が知

られているが、従来のファクシミリ装置は、オペレータが装置を起動するとともに相手ファクシミリ装置を指定して送信するようにしたものが一般的であった。

本発明の目的は、オペレータが不在時において、予じめ機械にセットされている送信原稿によって所定の相手ファクシミリ装置に対し、必要な時刻に送信ができるようにしたファクシミリ装置を提供しようとするものである。例えば、緊急を要しない複数の送信原稿を複数の相手ファクシミリ装置に送信する場合、他の緊急を要する送信原稿を優先させるため、又は電話料金等の関係で、夜間の一定の時刻に上記緊急を要しない送信原稿を所定の相手ファクシミリ装置に送信したいような場合に本発明はその効果を奏する。

以下、図面の実施例を参照して本発明の内容を詳細に説明する。

第1図は本発明のファクシミリ装置で使用する送信原稿の一例で、図に示すように、送信原稿1の画面情報が記録されていない先端余内部にマーク

記入欄1aを設ける。このマーク記入欄1aへのマーキングは鉛筆その他の筆記用具で行なったり、場合によっては予じめ印刷しておいてもよいが、このマーク1bにより当該送信原稿に対する相手ファクシミリ装置の加入者番号(電話番号)の設定を行うのである。すなわち、送信原稿1がファクシミリ装置に挿入されると、そのマーク記入欄1aに記入されたマークが読みとられ該送信原稿1に対応した相手ファクシミリ装置が指定されるように成されている。そして、このような送信原稿1を例えば複数枚にして予じめ機械にセットし、夜間の例えば電話料金が割引きとなった時刻に自動的に所望の相手ファクシミリ装置に対し、書面情報を送信することができるのである。

第2図は本発明に係るファクシミリ装置の一実施例である。図において、OPは自動原稿挿入装置(オートフィーダ)で、予じめセットされた送信原稿1を制御部CUからの指令で順次スキャナ部Bに挿入するようになされており、前述したごとく緊急を要しない送信原稿1が例えば複数枚セ

ットされる。そして、オペレータが不在となった後における所定の時刻に上記原稿を送信しようとするれば、その時刻にタイマー回路TMを設定する。該タイマー回路TMは操作部Kにより信号線2を通して予じめその時限を設定しておく。タイマー回路TMは、設定時刻になると信号線3を通して制御部CUに信号を出力する。これによって制御部CUは信号線4を通して自動原稿挿入装置OPに対し指令を発し、送信原稿1の挿入を指示する。送信原稿1がスキャナ部Bに挿入されるとセンサーS1が送信原稿1を検出し、信号線5を通して原稿1が装置に挿入されたことを制御部CUに伝える。制御部CUは装置の各部に所望の制御信号を与えるもので、原稿1の挿入が知られると信号線6を通して後述の機能を有するラッチ部Lをリセットするとともに、信号線7を通してモータMに信号を送り、モータMを高回転路に切替えて原稿1の早送りを進める。原稿1の先端がセンサーS1の位置に来ると、センサーS1が原稿1の存在を検出し、信号線8を通してセンサーS1

- 3 -

の位置に原稿1の先端が到達したことを制御部CUに伝える。これにより制御部CUは原稿1が所定の位置にセットされたことを知り、モータMへの信号の供給を停止し、原稿1の前進を一時停止せしめる。同時に制御部CUはラッチ部Lに信号線6を通してクロックを供給する。センサーS1は原稿1のマーク記入欄1aに印刷されたマーク1bを読み取るもので、読み取られたマーク情報は信号線9上のクロックに同期して信号線9を通してラッチ部Lに記憶される。

すなわち、ラッチ部Lには原稿1のマーク記入欄1aで指定された相手ファクシミリ装置の加入者番号が記憶される。

ラッチ部Lに記憶された加入者番号情報は信号線10を通してオートダイヤル装置ADに与えられるとともに信号線11を通して制御部CUおよび伝送部PSに対して加入者番号情報の読み取り完了信号を送出する。制御部CUは、この与えられた信号に応動して、装置の各部に必要とする制御信号を与える。例えば予じめ操作部Kによって、あ

る送信速度のモードが指定されて信号線12を通して与えられているので、制御部CUは信号線7を通してモータMに制御信号を供給し、モータMの回転速度を制御するとともに信号線13を通して伝送部PSに制御信号を与え、伝送部PSでの伝送速度を制御する。更に上記マーク記入欄1aに相手ファクシミリ装置の加入者番号情報の他に別の情報をマーク、例えば送信原稿が2枚から成っていることが指定されていると、後述する書面情報の送信が終了し、センサーS1が原稿の終端を検出した時、制御部CUは信号線4を通して直ちに自動原稿挿入装置(オートフィーダ)OPに対して指令を発し、次の原稿の挿入を指示する。同時に、制御部CUは信号線14を通して回線制御部NCに制御信号を送り、初めの原稿の送信が終了しても回線の切断を行なわないようにする。さて、上述したごとくラッチ部Lに記憶された加入者番号情報が信号線10を通してオートダイヤル装置ADに与えられると、制御部CUによる通信線15を通しての制御によって、該オートダイ

- 4 -

ヤル装置A Dから送信線16および回線制御部N Cを介して回線17にダイヤル番号信号(例えばダイヤルパルス)が送出され、相手ファクシミリ装置が呼び出される。相手ファクシミリ装置が応答すると、その信号が回線18、回線制御部N C、信号線19、信号線20を通して制御部C Uに与えられると、該制御部C Uは信号線13を通して伝送部P Sを制御する。これによって伝送部P Sは書画情報の送信に先だって送信モード信号を信号線21を通し、回線制御部N Cを経て相手ファクシミリ装置に発信される。

発信された送信モード信号が相手ファクシミリ装置で検知され、この結果、相手ファクシミリ装置の受信態勢が確立されると、その旨を知らせる応答信号が前記と同様のルートで制御部C Uに与えられる。これによって制御部C UはモータMに信号を送り原稿1の前進が可能となる。原稿1の書画情報はセンサーS<sub>1</sub>で逐次読み取られ、信号線22を通し、伝送部P S、信号線21、回線制御部N Cを経て回線17から送信される。制御部

C Uにおけるその他の必要な制御は操作部Kにより信号線12を通して指定される。同様に制御部C Uの種々の状態は信号線23を通して操作部Kに与えられて、例えば表示される。既述したように、書画情報の送付が完了しても、もし送信原稿1のマーク記入欄10に原稿の続き頁がある旨が指定されていれば、センサーS<sub>1</sub>が原稿1の終端を検出しても制御部C Uは回線の切断指令を出さず、装置は回線の直流回路を接続した状態で次の原稿の挿入を待つことになる。もし、続き頁のマークがない原稿の場合には、センサーS<sub>1</sub>による原稿1の終端検出によって、制御部C Uは信号線14を通して回線制御部N Cを制御し、電話回線を一旦切断する。そして次の送信原稿1の挿入を制御し、その原稿に対応する相手ファクシミリ装置が新たに呼び出されて送信が行なわれる。なお、相手ファクシミリ装置は、従来公知のものに対し、全く変更を加える必要がないので、その説明は省略する。

上述するように本発明によれば、比較的緊急を要

- 7 -

しない送信原稿を、予じめ機械にセットしておき、所望の時刻(例えば、割引電話料金時間帯)に送信原稿に対応した相手ファクシミリ装置へ自動的に書画伝送が行なえ、効率的運用がはかれる。

図面の簡単な説明

第1図は、本発明のファクシミリ装置に使用する送信原稿の一例、第2図は本発明による送信側ファクシミリ装置の一実施例である。

1…送信原稿、B…スキャナ部、C U…制御部、R…ラッチ部、P S…伝送部、A D…オートダイヤル装置、N C…回線制御部、T M…タイマー回路、O P…自動原稿挿入装置、K…操作部。

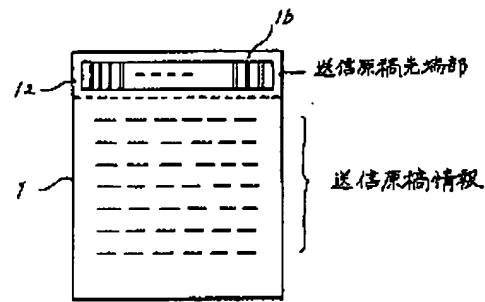
特許出願人

株式会社 大興電機製作所

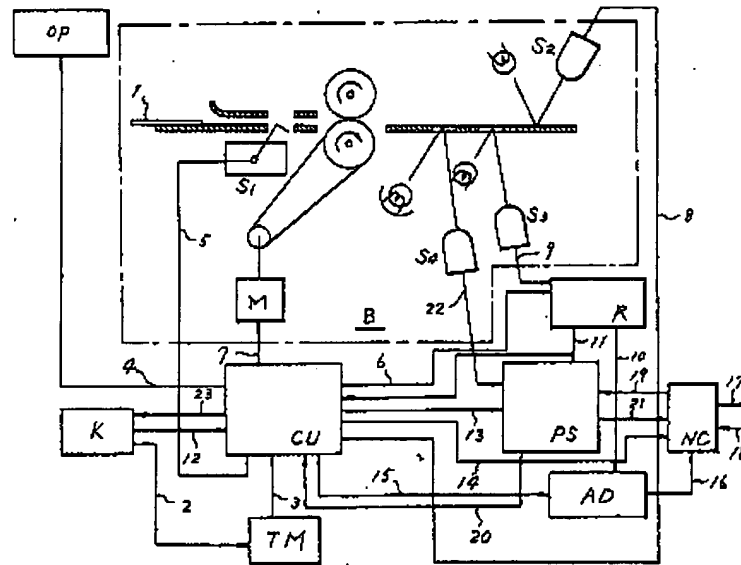
取締役社長 肥後 大介



- 8 -



※ 1 図



※ 2 図